

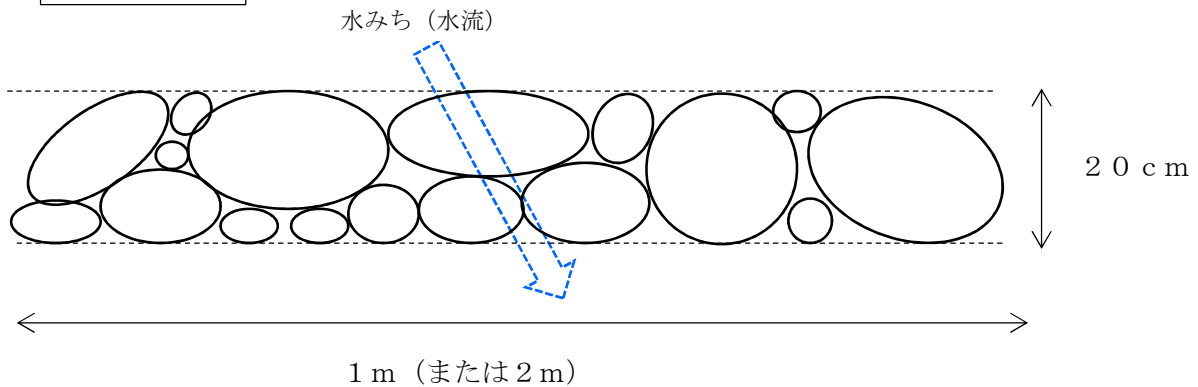
石組みダムの設置と地表面の耕起について

今回の作業は、植生マットの敷設作業に加え、既に敷設している植生マット内または隣接地に、土砂の移動防止、植生回復等の効果をより高めることを目的として、標記の作業を行うことにしています。

1 石組みダム

水流による地表面の洗堀と植生の流出を防ぐため、付近に点在する大小の礫類を集め、20cm幅で敷き詰めていきます（平積み）。

平面模式図



2 耕起 (表土の耕し)

表層に礫が少なく細粒分が露出している所では植生が回復しにくい状況となっています。

本年7月に実施の植生マット敷設地（一部）では、マットを一旦外し、深さ10cm以内で表土を手鋤で耕して礫と細粒分を混ぜ合わせ、礫を表面に露出させた状態でマットを被せ、高山植物の種子の定着を促します。

断面模式図

